

各駅に尾盛のタヌキ物語

井川線7駅に物語の看板を設置しました



井川線職員や長島ダム水源地域ビジョンメンバー

井川線7駅のホームに「尾盛のタヌキ物語」の看板がお目見えしました。人に化けて列車に乗った2匹のタヌキの道中をつづった物語で、井川線各駅に1話ずつ、計7話分設置されています。5月から始まった設置作業は、7月8日にすべて完了。観光客の目を楽しませています。

川根茶の歴史などを学ぶ

川根茶塾が開講式・芦沢哲也さんが講演



芦沢哲也さんによる講演会の様子

川根茶塾の開講式は7月11日、本庁会議室で開かれました。

本年度のテーマは「川根茶を知り川根茶を伝えよう」。町内外から19人が入塾しました。開講式後、日本茶インストラクター芦沢哲也さんが講演し、「茶の現況・川根茶の課題」についてデータなどを交えて学びました。

家庭婦人バレー熱戦展開

家庭婦人バレーボール大会・カトレアに軍配



カトレア愛好会の皆さん、おめでとうございます

第4回家庭婦人バレーボール大会は7月12日、B&G海洋センターで開催。7チームが出場しました。決勝戦では、大会3連覇中のエスプリを破り勢いに乗るカトレア愛好会と、2年ぶり決勝進出のブルートレインが激突。白熱した決勝戦はカトレア愛好会に軍配が上がりました。

前期バレー迫力のプレイ

前期バレーボール大会・タカシーズが栄冠



タカシーズの皆さん、おめでとうございます

前期バレーボール大会は5月26日、B&G海洋センターで開催。9チームが出場しました。26日に予選リーグ、勝ち上がった3チームにより27日、決勝リーグを実施しました。両日とも熱戦が繰り広げられ、結果、タカシーズが優勝。準優勝にはやんちゃかいが入りました。

この町に起こった
新鮮な「ネタ」を皆さんの元へ。
この次に登場するのは
あなたかも!!



中・高校生たちは、協力しながら清掃に取り組みました。千頭駅前のガードレールはびかびかに

古里を愛する心を育てる

中高一貫教育・郷土愛活動展開しました

川根地域の中高生が協力して道路や公共施設などを清掃する「中高一貫郷土愛活動」は7月28日、各学校の全校生徒が参加して展開されました。地域に感謝し、町を愛する心をはぐくむことを目的とした活動です。

今年は、大鉄千頭駅周辺や各地区集会所など10カ所以上で実施されました。取材した千頭駅周辺には、川高・本川根中の生徒約40人が参加。ガードレールを丹念に雑巾がけし、1年間の汚れを落としました。



練習の成果を存分に発揮して、力の限り駆け抜けた男子100メートル走スタートの瞬間

精一杯駆け抜けたこの夏

榛原地区北地域小学校陸上競技大会開催

本町の小学校4校（本小・中川根第一小・中央小・中川根南部小）の4年生以上が参加した「榛原地区北地域小学校陸上競技大会」は7月30日、中川根南部小グラウンドで開催されました。この大会のために、夏休み前から練習を重ねてきた子どもたち。当日は800メートル走を皮切りに、フィールドでは走り高跳びや幅跳び、トラックでは100メートル走などが繰り広げられました。みんな真剣な表情で、精一杯力を出し切りました。

健康な歯で元気な毎日を

歯のコンクール山口教平さん金の部優勝

役場生活健康課主催の「第4回いい歯キラリ番人(万人)の歯コンクール」は7月17日、山村開発センターを会場として開催されました。審査は金の部(80歳以上)、銀の部(75から80歳)、銅の部(70から75歳)に分かれて実施、各部門の入賞者が決まりました。審査に当たった渡邊克也歯科医師は、「ねんりんピックの出場選手を見ると、健康な歯の状態を保つ人が多い。皆さんいつまでも健康な歯で、元気な毎日を」と話しました。



健康な歯が、より一層元気な笑顔を生み出します。表彰式後に全員で記念撮影

金の部：①山口教平さん（藤川）、②森文一さん（千頭）、③藤田幸男さん（下長尾）、銀の部：①小西学さん（奥泉）、②山本學さん（上長尾）、③金子壽美江さん（徳山）、銅の部：①大村哲男さん（千頭）、②植村哲司さん（下長尾）、③森永里美さん（青部）

川の中は生き物いっぱい

中川根南部小が境川で河川水質調査実施

中川根南部小の3年生・4年生が合同で7月15日、境川の水質を調べる環境学習を実施しました。水棲生物の種類や生息数を調べ、川の水質を知るこの学習。鈴木正文さん(梅高)を講師に迎え、「瀬平けっこにせつ会」の会員が協力して調査は実施されました。

子どもたちは約1時間、川に入り生物を採取。「こんなに生き物がいるとは思わなかった」など、驚きの声が上がりました。境川はきれいな水質との結果でした。



網を使って川底や草の茂みをさがり、生物の有無を調査。たくさん水棲生物が見つかりました

日本国際青少年音楽祭委員会が主催する「第11回日本国際青少年音楽祭in静岡・川根本町コンサート」は7月23日、文化会館ホールで開催され、世界の音楽を肌で感じようと大勢の来場者が会場に訪れました。

オープニングは、川根高校郷土芸能部による赤石太鼓。涼、秩父屋台囃子、スピリチュアル・ドラマーズと迫力ある演奏が続ぎ、会場内の熱気は一気に頂点へ。勇壮な太鼓の音がホールいっぱいに響きました。



ヴィヴァリーニの演奏

10分間の休憩後ステージに上がったのは、ロシア・クラスノヤルスク芸術大学学生で編成する「ヴィヴァリーニ」。ヴァイオリンとピアノのアンサンブルです。ロシア民謡や、日本の「さくら」「ふるさと」など、華やかな音色で10曲以上披露しました。演奏後、来場者からは「アンコール」の大合唱が。ロシア民謡「カリンカ」を演奏し、会場を沸かせました。

音楽は人と人とを結ぶ♪

3年ぶりの開催「日本国際青少年音楽祭」



川根高校郷土芸能部による迫力ある太鼓演奏。流れるようなパチさばきはさすがです。曲目は「秩父屋台囃子」

Topics

川根本町の まちの話題